

共利群生の もりをめざして

2024
第24号
春

森林の保全が減災につながる

令和6年能登半島地震により被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。また災害により尊い命が失われました。謹んでお悔やみを申し上げます。

昨年は「いのちよ輝け～大師の みこころと共に～」をスローガンに、5月～7月にかけて「宗祖弘法大師御誕生1250年記念大法会」を執行いたしました。山林事業につきましても、多くの方々から御賛同・ご支援賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

特に本宗参与会の皆様からは、昨年も含め毎年多大なるご支援を頂いています。参与会では幅広くお大師さまの教えを広める活動を行っていますが、その活動目的の柱は高野山の尊厳護持であり、まさに山林部が進める祖山の信仰環境整備事業であります。

さらに令和7年には壇上伽藍御社の遷宮が控えており、山林部でも御社の社殿も含めて周辺の木々の保全・整備を進めているところです。

自然は時に荒ぶることもあります。山林を適正に管理することが、災害を減らすことにもつながります。SDGsの観点からもさらに対策を進めて参ります。皆様には何卒さらなるご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

山林部一同



高野山の豊かな森を後世に

共利群生のもりをめざして 2024 第24号

発行/金剛峯寺 山林部 〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132 TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640

献木
について

献木一口
2,000円

皆さまから寄せられた献木のご浄財は、高野山の森林護持の為に大切に使用させていただいております。
ご献木(ご寄付)いただいた皆さまには記念品を進呈致します。



男女兼用

高野霊木と五色の霊玉により、腕輪念珠を作製致しました。

使用済念珠の取扱について

破損等で不要になった念珠は、奥之院燈籠堂にお納めさせて頂きますので、山林部宛にご返送下さい。(送料実費)

1口 2,000円
の場合
どちらかを
お選び下さい

高野霊木
スマホスタンド

軽くて持ち運びに便利です

スタンド
サイズ
縦:18.4cm
横:8cm
厚さ:0.5cm



ご好評につき
追加製作
致しました

置いて
充電
できる!

令和7年版
予約受付開始

5口 10,000円の場合、いずれかをお選び下さい

カレンダーの販売は代引きでのみ行っており、
全国一律5,000円(手数料・送料込み)

※辰年分は完売致しました
※発送は11月頃を予定しております

高野霊木カレンダー短冊付
(限定1,000本)



金剛峯寺発行の冊子
4号、5号、6号のセットになります。

KUKAI(3冊セット)
(数量限定品)



高野の森の香りハンドクリーム
(数量限定品)
高野山を代表する樹木であるコウヤマキを
メインに杉・ヒノキなどの高野山の森林の香りを
イメージしたアロマハンドクリームです。

◆ 通信欄 ◆

皆様からご支援いただいた献木志納金は祖山環境の維持管理のため、使用させていただいております。

献木の受付は金剛峯寺ホームページから行えますので、是非ご覧下さい。

スマホスタンドは作成数を増やしておりご希望の方にはお届け可能となっております。

この会報は、献木にご協力いただいた方に春と秋の年2回、それぞれ振替用紙を同封してお届けしております。

何かお気づきの点がございましたら、E-mailにてご意見を頂戴できれば幸いです。

献木受付は
こちらから



会報バック
ナンバーは
こちらから



『献木』お振込先

振替用紙をご送付致しますので、山林部までご連絡下さい。
郵便振替口座：大阪 00930-6-61758
ゆうちょ銀行：〇九九支店 当0061758
加入者名：宗教法人 金剛峯寺山林部

●窓口やATMでの払込みサービスを現金で利用するときには、1件ごとに料金110円が加算されます。通帳またはキャッシュカードを利用する場合は加算の対象外です。

お問い合わせ

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132 金剛峯寺 山林部
TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640
E-mail sanrinka@koyasan.or.jp
※次号から会報の送付を停止する場合は、お手数ですがご一報下さい。



このリーフレットは環境と資源を守る
植物油インキを使用しています。

エスディージーズ SDGs × 山林部のサステナビリティ

SDGsのご協力ありがとうございました。
金剛峯寺は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

道普請ウォーク

和歌山県では、自然あふれる地で、持続可能性の本質を体感できるとして、企業や団体向けに「熊野古道」や「高野参詣道」の修復を行う、『道普請ウォーク』を募集し取り入れています。

2004年に『紀伊山地の霊場と参詣道』として世界遺産に登録され、今年で20年となります。豊かな自然と、1000年以上もの間人々によって畏れ敬われてきた信仰が一体となっており、これは他に例のない世界遺産であり海外からも高く評価され、まさにそれ自体が“持続可能性”を体現している場所だといえます。

道普請ウォークは毎年さまざまな企業や団体にお越しいただいております。とても好評を得てリピートもいただいております。

実際の修復作業を通じ、持続可能性とは何か、そうした社会を実現するには何が大事かをより深く考えられるようになるということです。

写真は大門境内からのびる『嶽の弁財天』への参詣道の修復の様子です。土を袋に入れて運び、雨などで流れてしまった部分に土を入れて固め、修復していただきました。



職員組合クリーンプロジェクト

金剛峯寺職員組合では、お彼岸前に清掃活動を実施しており、高野山内各所の境内のゴミや落ち葉などを片付けたり、諸堂の掃除などをしております。



かや 榧 (イチイ科) 花ことば「努力」

榧は、お大師さまが若かりし頃修行した、虚空蔵求聞持法の供物に関わりのある植物です。

榧の実とは古くは縄文時代から食用とされていたようで、榧実と称して漢方にも用いられており、精進料理の和え物やお菓子の材料としても使われているものです。現代でも食用油料・燈用油料としても用いられてきたため各地の神社仏閣に巨木が残っているようです。また高野山上には古くからは自生していなかったのではないかとされており、高野山で使われるものは山外の寺領とされていた地域 (毛原近辺が主) で採れたものだったようです。僧侶になるための出家の儀式である「得度式」の際には袈裟と共に念珠も授かりますが、梅や榧で作られた念珠は軽く扱いやすいことと手に入りやすいこともあるためか、出家した僧侶の念珠として用いられます。榧製の念珠は素挽きですと使い込むほどにだんだんとアメ色になっていくので変化を楽しめます。

※虚空蔵求聞持法とは、約50日～100日ほどかけて虚空蔵菩薩の真言を百萬遍お唱えする修行法で高野山では真別処が修行道場となっています。この真別処の門前向かって右側に大きな榧の木があります。なお、真別処は修行道場につき拝観はできません。

榧の枝葉



榧の念珠と実

山の神

十一月七日は紀州山の日です。和歌山県が一九九四(平成六)年に制定。紀州の山村ではかつて旧暦十一月七日に山の神に感謝する祭りが行われていたことから山林に対する理解を深め、人と山が共生する山村づくりを啓発することが目的で制定されました。

この日を記念して、金剛峯寺では例年この紀州山の日、山の神に感謝する金剛峯寺山の神大祭を開催しています。

午前十時より金剛峯寺執行加藤栄俊師導師のもと山の神大祭を執り行いました。終了後は、コロナで中止になっておりました「餅まき」を四年ぶりにを行う予定でしたが、前夜から降り続いた雨のため、傘餅(大きくて平べったく丸い餅)のみ投げた後、祭壇にお供えしたお餅を祭事の締めくくりとして集まった方々に配布しました。山林部長の投げた傘餅が鳥居の上に乗るという縁起の良い嬉しい出来事もあり、今年一年の締めくくりとして山に従事される皆様の安泰を願うばかりです。

鳥居に乗った投げ餅

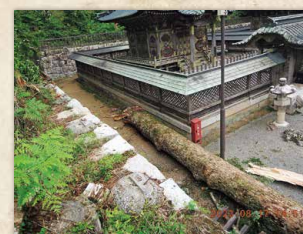


令和5年度 献木事業報告

金剛峯寺山林部では高野山の森林保護を目的に、献木活動を行っております。森林保護は植えるだけでなく、間伐や枝打ちなどのさまざまな手入れも必要です。令和5年度も皆様から寄せられた献木のご浄財により、多くの事業を行うことができました。

また高野山真言宗参与会では境内林整備事業に毎年ご支援いただいております。

- ・**献木記念事業**
～倒指しの藤 藤棚修繕法要を執り行いました～
- ・**徳川家霊台倒木伐採処理**
～重要文化財の霊屋への被害はなく、奇跡的な倒木でした～
- ・**景観樹管理**
～三鈷の松などの剪定・消毒等～
- ・**奥之院参道整備事業**



その他さまざまな事業で活用させていただきました。ありがとうございました。高野山は世界遺産登録20周年を迎えました。これからも世界遺産高野山の信仰環境護持管理に努めて参ります。